

2024年2月7日(水)第一水曜祈祷会

マタイの福音書14章22～36節

『主に触れていただいたペテロ』

【観察と黙想】

1. 「信仰とは試練の中でこそ試される」(14章22～26節) *「向かい風」…ガリラヤ湖独特の嵐

① イエスさまはどうして弟子たちだけを舟に乗り込ませて向こう岸に向かわせたのですか。

→

② 弟子たちの中には元漁師が何人もいたのに、どうして向かい風に悩まされたのですか。

→

③ 弟子たちはどうして湖の上を歩いてくるイエスさまを見て、「幽霊だ」と言ったのですか。

→

2. 「信仰とはイエスから目を離さないこと」(14章27～29節) *「わたしだ」…わたしはある。

① イエスさまは慌てふためく弟子たちにどのように声をかけられましたか。

→

② ペテロはどうして「主よ、あなたでしたら…」と湖の上を歩こうと思ったのですか。

→

③ イエスさまの「来なさい」という言葉を聞いて、ペテロはどうしましたか。

→

3. 「信仰とはイエスの約束を信頼すること」(14章30～33節) *「疑い」…心が二つ分かること。

① ペテロはどうして怖くなって、沈みかけてしまったのですか。

→

② イエスさまはどのような思いで「信仰の薄い者よ」とペテロに言われたのでしょうか。

→

③ 「そして二人が舟に乗り込むと、風はやんだ。」とは何を表していますか。

→

4. 「信仰とはイエスに期待を持って近づくこと」(14章34～36節) * 人の子には枕する所もない。

① イエスさまがゲネサレの地に着くと、人々はどうしましたか。

→

② ゲネサレの人々はどうして病人をイエスさまのもとに連れてきたのですか。

→

③ イエスさまは連れてこられた病人たちをどうされましたか。

→

【適用と分かち合い】